

第 8 回精和病院移転・統合検討委員会 議事概要

開催日時：令和 8 年 7 月 30 日（木）15 時 00 分～17 時 00 分

開催場所：沖縄県南部合同庁舎 5 階第 3・4 会議室

議事概要：

精和病院の南部医療センター・こども医療センター（以下「南部医療センター」という。）への移転・統合基本計画については、令和 6 年 5 月に策定したが、その後実施した基礎調査の結果を踏まえ、一部見直しの検討を行うこととなった。

本委員会においては、医療機能及び人員配置の検討、総合精神保健福祉センターとの一体化に向けた整備方針の検討などを行った。

1. 医療機能及び人員配置の検討について

診療報酬改定を踏まえた収支計画や病棟看護師の効率的運用、結核病床や児童思春期入院医療管理料の算定について議論を行った。

また、以下のような意見等があった。

- 前回の検討委員会におけるご意見を踏まえ、2 フロア各 60 床の病棟構成を検討した。看護配置は運用の見直しにより人員の適正化を図った。児童思春期は他施設の状態も踏まえ、加算取得のための施設整備を行わず、重症患者を継続的に受け入れる対応を想定している。結核病床はモデル病床の活用に向け、保健医療介護部と協議したうえで、現状から減床し、2 床で運用する予定である。
- 収支改善が目的化していないか。民間病院で賄えない医療機能を補完するのが県立病院の役割である。在院日数短縮を前提とした転院が適切か検討が必要と考える。身体合併症病床 12 床では不足するのではないかと考える。
- 本計画は赤字対策ではなく老朽化対応や身体合併症受入れを見据えたものである。早期に移転・統合を進め、患者が安心して受診できる医療を提供したい。また、在院日数は 100 日以内を目指すのが、県立病院としての役割遂行上の超過はやむを得ないと思う。
- 多様な患者に対応するため 60 床 1 病棟の運用を検討してきた。在院日数の短縮は目指すものの、県立病院としての役割を担いながら収支の黒字化を図るのは容易ではないと認識している。児童思春期については、加算を取得する必要はないと考えるが、小児精神科患者等の受け入れは継続が必要である。

- 精神科一般患者も継続して受け入れ、診づらい人を身体合併症病床 12 床で診る想定であり、不足はないと考える。
- 今後の医療ニーズに応じて柔軟に見直すことが可能であれば、異論はない。
- 計画当初は県立病院の役割に特化した計画が議論され、身体合併症患者や児童思春期も必須機能とされていた。児童思春期については、民間病院の動向も踏まえると、加算取得のための整備は行わない方針に異論はないが、民間病院で対応が困難な事例には対応いただきたい。モデル病床を活用した結核病床の 2 床削減には賛同する。収支計画については、他都道府県の精神科病院でも同様に赤字であるため、精和病院の赤字のみで不適切と評価すべきではない。
- 加算取得に伴う人員増が県立病院の赤字収支に影響しているものの、近年はセル看護方式の導入やチームコンパス等の DX 化を進めたことで離職率が低下し、より手厚い看護の提供が可能となっている。

2. 施設整備計画について

以下のような意見等があった。

- 全室個室は病院からの要望か。
- そのとおりである。
- 全室個室はコスト面での負担も大きく、民間では難しい整備である。

3. 基本計画書の更新箇所について

以下のような意見等があった。

- 概算事業費の財源内訳を教えてください。
- 財源については、病院事業債特別分、国庫補助金を想定している。
- 地域医療介護総合確保基金は活用できるか。
- 現行の地域医療構想には精神科が含まれず活用不可だが、新たな地域医療構想には位置づけられるため、今後の検討状況によっては将来的に活用できる可能性がある。

4. 精和病院と総合精神保健福祉センターの連携強化に向けた施設の一体化について

総合精神保健福祉センターについては、近年改修工事を実施し施設の長寿命化を図っていることから、新たな費用を投じることは困難と判断し、精和病院との一体化整備は行わない方針とした。

また、以下のような意見等があった。

- 精神保健福祉センターは令和３年度に改修済みであり、さらに費用を投じての一体化整備は困難である。また、新棟の予定面積が現施設と同等で未利用室も存在することから、狭隘化を理由とした移転・統合は論理的整合性を欠くと判断する。情報共有等の連携は同一建物でなくとも可能である。以上のことを踏まえ、一体化整備は行わないこととする。
- 精神保健福祉センターと統合できないことは残念である。
- 行政としてセンター長を務める精神科医の後継者を確保するように働きかけたい。

精和病院移転・統合検討委員会 名簿

	氏 名	役 職	備 考
1	本竹 秀光	病院事業局 局長	委員長
2	佐々木 尚美	北部病院 院長	
	天願 俊穂	中部病院 院長	
3	(代理出席者) 高良 博明	中部病院 副院長	
4	重盛 康司	南部医療センター・ こども医療センター 院長	
5	川満 博昭	宮古病院 院長	
6	田仲 斉	八重山病院 院長	
7	屋良 一夫	精和病院 院長	
8	諸見里 真	保健医療介護部 部長	
9	宮城 和一郎	病院事業局 病院事業統括監	
10	牧志 倫	総合精神保健福祉センター所長	
11	田崎 琢二	沖縄県精神科病院協会 会長	
12	高江洲 義和	琉球大学大学院医学研究科 精神病態医学講座 教授	欠席
13	福治 康秀	独立行政法人国立病院機構 琉球病院 院長	
14	平安 明	沖縄県医師会 副会長	欠席
15	川田 聡	南部医療センター・ こども医療センター 精神科部長	